

三位一体

1. 神は お一人ですか。

私たちが全身で仕え、礼拝すべき神は、お一人の神だけです（申 6:4-5、マルコ 12:29-30）。神は、最高の善であり（詩 144:15）第一の原因であり、すべてのことを治め、いと高き統治者です（使徒 17:28、詩 19:1）。このような神は、ただお一人です。全能であり、無限であり、全知なる神は、すべてのことを行われますが、その方は、ただお一人です。従って全世界は一つの目的に向かって進んでいて、それは、ただお一人の方、神に仕えることです。そしてお一人の方である神は、すべてことを命令なさいます。

2. 世の人たちが 色んな種類の 神々に仕える 理由は なぜですか。

偶像崇拝者たちは、自分たちの目的のために神々を作り拝みます。その神々は、人間の想像力と愚かさから出て来た、偽りものとして、罪によって腐敗された本性の産物です（ロマ 1:21-23）。神はイスラエルの民を区別させ、彼らに、神を、形像化することを禁じ、異邦人たちが目に見える偶像を作り拝むことを、真似てはならないと命じました。

一方、聖書では、悪魔を「この世の神々」と呼んでいます。悪魔は、神に反逆して追い出された悪い天使です。悪魔は、この世の人々が嘘を信じるようにさせ、また罪を犯すように、また、彼らをその罪の中に閉じ込めます。それで偽りの父である悪魔を、この世の神々と呼ぶのです（Ⅱコリント4:4）。

3. お一人の神なのに 三位としておられるとは 何の意味ですか。

神の本質は分割できません。しかし神は三位、つまり、三人の人格として区別されます。神は色々の性質に従って分けられず、色々の部分として分けられません。従って三位は、一つの本質の中におられ、ただ、位格として区別されるのです。それを用語上、三位一体と呼びます。勿論、この用語は、聖書に記されていないけれど、神さまが、ご自身をこのように啓示されたので使用します。三位一体・教理は、唯一の神を信じる、ユダヤ教、イスラム教とも区別されるので、キリスト教信仰にのみあります。

4. 旧約聖書では 三位一体・教理を どのように証しますか。

創世記1章2-3節では、御父なる神がお言葉によって世界を造り、聖霊は水の上を動いていたという、まるで、雌鶏が卵を抱くように保護なさったと語っています。また、創世記1章26節では、三位の神が、人を神の形に造られたと語ります。イザヤ書42章1節では、御父がキリストにあつて聖霊を授けると約束し、ハガイ書2章5節では、御父が御言葉と聖霊によって契約を結ばれたと語っています。

5. 新約聖書では 三位一体・教理を どのように証ししますか。

新約において、三位一体についての教理は、旧約よりさらに明確で具体的です。マタイの福音書 3 章 16-17 節で、イエスさまがバプテスマを受けられた時、父の声が天から聞こえ、息子であることを証しし、聖霊は鳩のようにキリストの上に下って来られました。マタイ 17 章 5 節では、変貌山で、御父が子について証しされ、マタイ 28 章 19 節では、私たちが洗礼を受ける時、父・子・聖霊の名によって受けるようになさいました。ヨハネの福音書 14 章 16、26 節は、15 章 26 節、そして 16 章 13-15 節では、父と子が、聖霊を遣わすことを約束なさっています。

ルカの福音書 1 章 35 節では、聖霊によって神の子が身ごもられ、人間の体を持って生まれることを御使いによって告げられます。使徒の働き 2 章 33 節では、神の右に着座しているキリストが、父から聖霊を受け、お注ぎになることと語っていて、第二コリント 13 章 13 節では、使徒パウロが、父・子・聖霊の名によって祝福していることを記しています。テトス 3 章 4-6 節は、イエス・キリストを通して、聖霊を注がれることによって新生するのだと語っていますし、ヘブル書 9 章 14 節では、聖霊さまが、罪によって苦しみを受けている靈魂の良心に、キリストの血を注いで新生させるのだと説明しています。

6. 三位一体・教理は 人間の理性によって 理解する事ができますか。

この教理は、人間の理性で理解できることではありません。勿論、神と関連される、多くのことが理性を持って量り知り得ることはできません。三位一体・教理は、神秘的なことの中でも、なお神秘です。従って三位一体・教理を、人間

の理解や理性を持って解こうとすると、誤りに陥ります。例えば、三人の神がおられるという三神論に陥る可能性もあり、神は一人だけど、姿を変えて現れると言う様態論 (Modalism) に陥ります。また、御子の神聖を否定して、御子は、一番最初の被造物だという誤りもあって、御子が十字架で死ぬ時、父が苦しみを受けたという誤りもあります。一方、御子は本来人間であったのに、神に忠誠して神の子となれたという誤りもあります。このような誤りと異端は、初代教会の時だけではなく、宗教改革時代と近代教会にも、現代教会にも続いています。

7. 御父なる神を お父さんと呼ぶ 理由は何ですか。

キリストは、御父なる神から永遠に出られました。それで神を、私たちの主イエス・キリストの父なる神と呼ぶのです (エペソ 1:3)。御子の仲保の働きによって神の選ばれた者たちが天を相続として受けられるようになり (エペソ 3:14-15)、また彼らは、神の子共として家族とされました。それで彼らが、神に向かって「我らの父」と呼ぶのです (マタイ 6:9、ロマ 8:15)。従って真の聖徒は、神をあかめ、父なる神に従順します (1ペテロ 1:14)。聖書では、一般的に「神」「主」と呼ぶ時には、御父なる神を指しているのです。

8. 子なる神を 御子と呼ばれる 理由はなぜですか。

御子なる神は、父から永遠に出られました (ヨハネ 5:26)。それで神の子と呼ばれます。しかしこれを、御子として造られたと理解してはなりません。ここで御子は、神の形です。父はご自身の栄光を御子によって現しました (ヘブル 1:3)。

御子は、ことばと呼ばれますが、父が御子を通してご自身の御心を啓示なさるからです (ヨハネ 1:18)。父は聖書をもって、御子のことをしきりに、そして続けて約束なさいました。従って御子は、聖書全体の主題です (ヨハネ 1:45)。これは、神が、御子を通してご自身を現すからです (ヨハネ 17:3)。

9. 御子が 神となられる 証拠は 何ですか。

御子が行われた働きは、その方が、神であることを証しします。御子は世界を造られました (ヘブル 1:2)。その方は罪を赦します (マタイ 9:2)。また御子は聖霊を遣わし (ヨハネ 15:26) その教会をすべ治め、維持させます。このような働きは、御子が神であるからこそ、なされることなのです。

10. 聖霊が 神となられる 証拠は 何ですか。

聖霊は、三位の中で一つの位格であり、ただ、ある能力や力を現すだけではありません。聖霊は、父と子から永遠に出られ、また遣わされたから神です。神の神的本質にあっては、御父と御子と同じです。創造の働きの時に、聖霊さまは働かれ (創 1:2)、アナニヤは人間に嘘を言ったのではなく、聖霊を欺き嘘を言ったので審判を受けました (使徒 5:3-4)。聖霊は人々に多様な賜物をお与えします。神でなければ、どの誰でも、このようなことはできないのです (I コリント 12:6, 11)。

11. 聖霊が父と子から来られる理由は何か。

御子は、父から聖霊を遣わすと約束し、その約束通りに、御子が昇天し、父から聖霊を受け、教会に注いでくださいました（使徒 2:33）。このように聖霊が、父と子から来られる理由は、父と子が委ねた働きをするためです。聖霊は、真理の御霊として来られ、父が遣わした御子を証しします（ヨハネ 15:26）。また聖霊は、神の御霊とも呼ばれたり、キリストの御霊として呼ばれたりもします（ロマ 8:9）。父と子の御心は一つだからです。

12. 三位一体・教理が 私たちに なぜ 重要ですか。

三位は、性質によって区別されるのではなく、三位の神との関係と秩序、そしてなさる働きによって区別されます。秩序においては、父なる神、子、聖霊の順序を持っています。これは、父が子より優等で、子が聖霊より優等だということではありません。これは、三位の神の秩序として、子は父から永遠に出られ、聖霊は父と子から永遠に出られ、また遣わされたということです。父は計画し、子はその計画を実行させ、聖霊は、父の計画と子の実行とを適用させます。これは、特に、私たちの救いを成し遂げるにあって、三位の神さまが働かれる方式です。従って三位一体・教理は、直接的に私たちの救いを理解するために重要です。まことの神の民は、三位一体の神を告白します。